

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のDR（預託証券）
マザーファンドの運用方法	<p>①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボブスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。</p> <p>②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 ※株式…DR（預託証券）を含みます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、収益分配前の基準価額が10,000円（1万口当り）を上回る場合に、当該超過額の範囲内で委託会社の判断により分配を行ないます。ただし、基準価額の動向等によっては、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ブラジル株式ファンド

運用報告書（全体版）

第36期（決算日 2017年3月21日）

第37期（決算日 2017年6月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル株式ファンド」は、このたび、第37期の決算を行ないました。

ここに、第36期・第37期中の運用状況を報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ボベスパ指数 (円換算)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(ベンチマーク)	期中 騰落率 %			
28期末(2015年3月20日)	4,453	0	△ 14.9	5,373	△ 16.2	95.4	—	3,667
29期末(2015年6月22日)	4,987	0	12.0	6,124	14.0	96.4	—	4,130
30期末(2015年9月24日)	3,202	0	△ 35.8	3,750	△ 38.8	95.3	—	2,679
31期末(2015年12月21日)	3,224	0	0.7	3,843	2.5	96.9	—	2,626
32期末(2016年3月22日)	3,738	0	15.9	4,552	18.5	96.9	—	3,031
33期末(2016年6月20日)	3,601	0	△ 3.7	4,366	△ 4.1	97.5	—	2,831
34期末(2016年9月20日)	4,198	0	16.6	5,136	17.6	96.7	—	3,178
35期末(2016年12月20日)	4,582	0	9.1	5,712	11.2	97.2	—	3,326
36期末(2017年3月21日)	5,444	0	18.8	6,824	19.5	97.0	—	3,815
37期末(2017年6月20日)	4,774	0	△ 12.3	6,071	△ 11.0	96.3	—	3,372

(注1) ボベスパ指数(円換算)は、ボベスパ指数(配当込み、ブラジル・リアルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

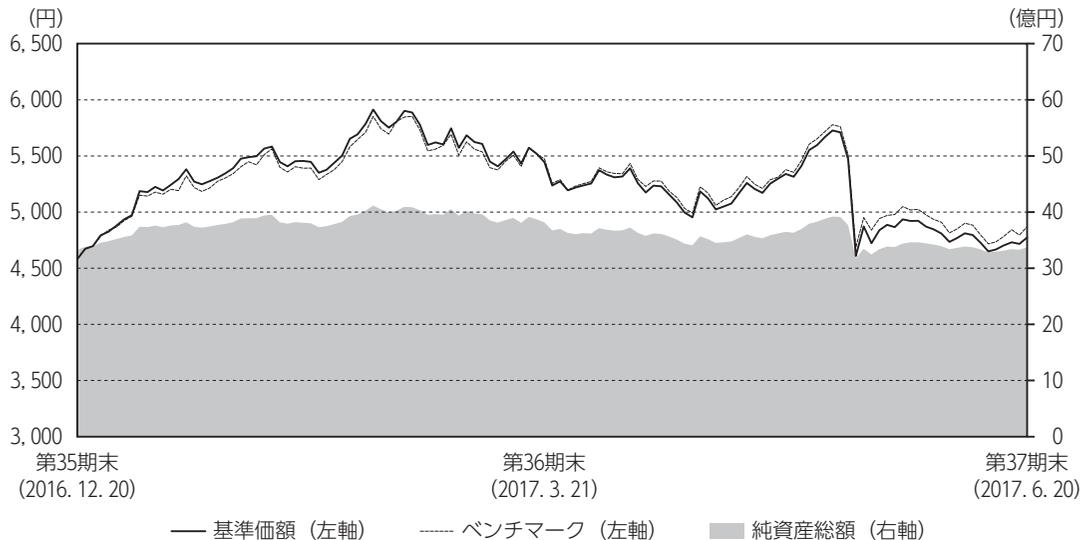
(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、第35期末の基準価額をもとに指数化したものです。

*ベンチマークは、ポペスパ指数 (円換算) です。

■ 基準価額・騰落率

第36期首：4,582円

第37期末：4,774円

騰落率：4.2%

■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。ブラジル・リアルはテメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑などを受けて下落したためマイナス要因となりましたが、ブラジル株式が、ブラジル財政再建への期待が高まったことや資源価格が上昇したことなどを受けて上昇したためプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

ダイワ・ブラジル株式ファンド

	年 月 日	基 準 価 額		ボベスパ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		円	騰 落 率 %	(ベンチマーク)	騰 落 率 %		
第36期	(期首) 2016年12月20日	4,582	—	5,712	—	97.2	—
	12月末	4,972	8.5	6,187	8.3	97.2	—
	2017年1月末	5,446	18.9	6,731	17.8	97.3	—
	2月末	5,620	22.7	6,932	21.4	96.1	—
	(期末) 2017年3月21日	5,444	18.8	6,824	19.5	97.0	—
第37期	(期首) 2017年3月21日	5,444	—	6,824	—	97.0	—
	3月末	5,334	△ 2.0	6,680	△ 2.1	97.1	—
	4月末	5,171	△ 5.0	6,495	△ 4.8	97.4	—
	5月末	4,922	△ 9.6	6,263	△ 8.2	96.5	—
	(期末) 2017年6月20日	4,774	△ 12.3	6,071	△ 11.0	96.3	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 12. 21 ~ 2017. 6. 20)

■ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は、第36期首より、ブラジルの財政再建への期待が高まったことやブラジル中央銀行が利下げを実施したことなどを受けて、上昇基調となりました。2017年2月末にかけては、鉄鉱石などの資源の価格が上昇したことや、インフレの落ち着きを受けて追加利下げの期待が高まったことなどから続伸しました。しかしその後は、米国の利上げ観測の高まりや原油価格の下落に加えて、ブラジル下院において社会保障制度改革法案の成立が先送りされる見通しとなったことなどが失望されて反落しました。4月には、北朝鮮情勢などをめぐる地政学的リスクが高まったことも下落要因となりました。5月に入ると、社会保障制度改革法案の成立に楽観的な見方が高まり上昇する場面もありましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑が報じられたことを受けて、現政権での構造改革が遅れるとの懸念が広がったため急反落しました。その後、汚職隠ぺいの証拠が事前報道ほど決定的ではなかったことから市場は落ち着きを取り戻しましたが、軟調な資源価格を受けて上値が重い展開のまま第37期末を迎えました。

■為替相場

ブラジル・レアルは下落しました。第36期首から2017年2月にかけては、ブラジルのインフレが沈静化していることや財政健全化に向けた改革が進展していること、また鉄鉱石などの資源の価格の上昇などを受けて堅調な推移となりました。3月以降は、米国の利上げ観測の高まりやブラジルの社会保障改革の進ちょくに懸念が台頭したことに加えて、地政学的リスクの高まりや有力政治家の汚職疑惑などを受けて上値の重い展開となりました。5月には、社会保障制度改革に楽観的な見方が広がり上昇する場面もありましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑を受けて構造改革の進展に対する懸念が広がったことから大幅に下落しました。その後、市場は落ち着きを取り戻しましたが、資源価格の下落などを受けて、軟調な推移のまま第37期末を迎えました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率を高位とする方針です。

■ ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2016. 12. 21 ~ 2017. 6. 20)

■ 当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位に保ちました。

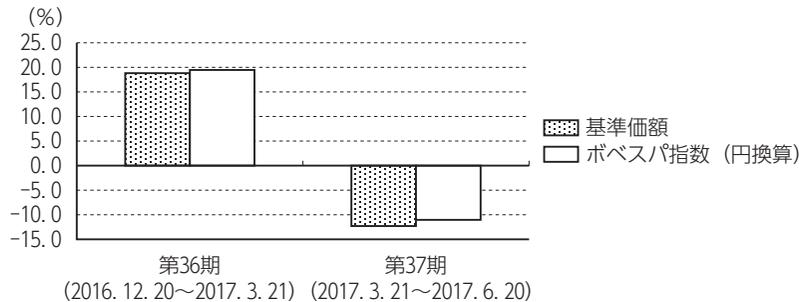
■ ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

当作成期間は、株式組入比率を高位に保ち、成長性、株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、ブラジル景気の回復から恩恵を受けることが見込まれた小売りの LOJAS AMERICANAS（一般消費財・サービス）を買い付けました。また、銀行銘柄においては、不良債権の減少により業績改善が見込まれる BANCO DO BRASIL（金融）を買い付ける一方、魅力度が減少した ITAU UNIBANCO（金融）を売却しました。

ベンチマークとの差異について

当作成期間のベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））の騰落率は6.3%の上昇となりました。一方、当ファンドの騰落率は4.2%の上昇となりました。安定消費財セクターのオーバーウエートなどがマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

第36期および第37期は、分配方針通り、基準価額の水準を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第36期		第37期	
	2016年12月21日 ～2017年3月21日		2017年3月22日 ～2017年6月20日	
当期分配金（税込み）	(円)	—	—	—
対基準価額比率	(%)	—	—	—
当期の収益	(円)	—	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,236	1,250	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率を高位とする方針です。

■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第36期～第37期 (2016. 12. 21～2017. 6. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	47円	0. 899%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 262円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0. 428)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0. 070	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0. 070)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 008	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 008)	
そ の 他 費 用	6	0. 116	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 065)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	57	1. 093	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・ブラジル株式ファンド

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年12月21日から2017年6月20日まで)

決算期	第36期～第37期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	525,512	305,000	761,877	440,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年12月21日から2017年6月20日まで)

項目	第36期～第37期
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,514,766千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,630,631千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.54

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第36期～第37期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第35期末		第37期末	
	□数	□数	□数	評価額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	6,608,378	6,372,013	3,365,697	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年6月20日現在

項目	第37期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	3,365,697	99.1
コール・ローン等、その他	29,558	0.9
投資信託財産総額	3,395,255	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.77円、1ブラジル・レアル=34.04円です。

(注3) ダイワ・ブラジル株式マザーファンドにおいて、第37期末における外貨建純資産(4,322,345千円)の投資信託財産総額(4,397,781千円)に対する比率は、98.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年3月21日)、(2017年6月20日)現在

項目	第36期末	第37期末
(A)資産	3,848,374,326円	3,395,255,471円
コール・ローン等	30,199,936	29,558,047
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド(評価額)	3,809,174,390	3,365,697,424
未収入金	9,000,000	—
(B)負債	32,553,548	22,895,460
未払解約金	15,260,741	6,834,050
未払信託報酬	17,241,541	15,962,676
その他未払費用	51,266	98,734
(C)純資産総額(A-B)	3,815,820,778	3,372,360,011
元本	7,009,858,736	7,063,381,166
次期繰越損益金	△ 3,194,037,958	△ 3,691,021,155
(D)受益権総口数	7,009,858,736口	7,063,381,166口
1万口当り基準価額(C/D)	5,444円	4,774円

*第35期末における元本額は7,261,008,566円、当作成期間(第36期～第37期)中における追加設定元本額は1,237,041,947円、同解約元本額は1,434,669,347円です。

*第37期末の計算口数当りの純資産額は4,774円です。

*第37期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,691,021,155円です。

■損益の状況

第36期 自2016年12月21日 至2017年3月21日
 第37期 自2017年3月22日 至2017年6月20日

項 目	第36期	第37期
(A) 配当等収益	△ 2,859円	△ 3,224円
受取利息	140	91
支払利息	△ 2,999	△ 3,315
(B) 有価証券売買損益	565,406,882	△ 434,636,056
売買益	632,461,226	19,164,604
売買損	△ 67,054,344	△ 453,800,660
(C) 信託報酬等	△ 17,292,807	△ 16,010,193
(D) 当期損益金 (A+B+C)	548,111,216	△ 450,649,473
(E) 前期繰越損益金	△ 878,267,196	△ 303,389,163
(F) 追加信託差損益金	△2,863,881,978	△2,936,982,519
(配当等相当額)	(543,234,951)	(576,813,115)
(売買損益相当額)	(△3,407,116,929)	(△3,513,795,634)
(G) 合計 (D+E+F)	△3,194,037,958	△3,691,021,155
次期繰越損益金 (G)	△3,194,037,958	△3,691,021,155
追加信託差損益金	△2,863,881,978	△2,936,982,519
(配当等相当額)	(543,234,951)	(576,813,115)
(売買損益相当額)	(△3,407,116,929)	(△3,513,795,634)
分配準備積立金	323,861,053	306,795,706
繰越損益金	△ 654,017,033	△1,060,834,342

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 10,227,329円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第36期	第37期
(a) 経費控除後の配当等収益	32,891,621円	9,191,123円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	543,234,951	576,813,115
(d) 分配準備積立金	290,969,432	297,604,583
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	867,096,004	883,608,821
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	867,096,004	883,608,821
(h) 受益権総口数	7,009,858,736口	7,063,381,166口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

運用報告書 第19期 (決算日 2017年6月20日)

(計算期間 2016年12月21日～2017年6月20日)

ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のDR（預託証券）
運用方法	<p>①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボブスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。</p> <p>②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※株式…DR（預託証券）を含みます。</p>
株式組入制限	無制限

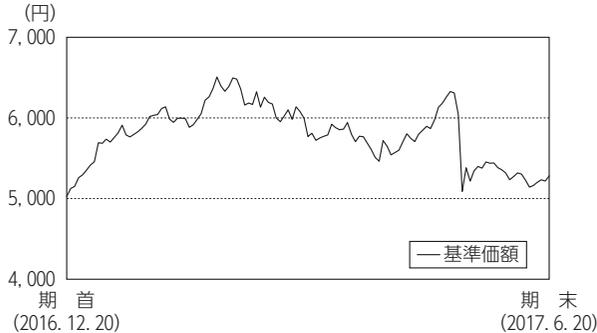
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		ボベスパ指数 (円換算)		株 式	株 式
	円	騰落率 %	(ベンチマーク)	騰落率 %	組入比率 %	先物比率 %
(期首) 2016年12月20日	5,025	—	5,518	—	97.3	—
12月末	5,457	8.6	5,976	8.3	97.4	—
2017年 1月末	5,987	19.1	6,502	17.8	97.5	—
2月末	6,185	23.1	6,696	21.4	96.3	—
3月末	5,880	17.0	6,453	16.9	97.3	—
4月末	5,707	13.6	6,274	13.7	97.6	—
5月末	5,441	8.3	6,050	9.6	96.7	—
(期末) 2017年6月20日	5,282	5.1	5,864	6.3	96.5	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ボベスパ指数(円換算)は、ボベスパ指数(配当込み、ブラジル・リアルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：5,025円 期末：5,282円 騰落率：5.1%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。ブラジル・リアルはテメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑などを受けて下落したためマイナス要因となりましたが、ブラジル株式が、ブラジル財政再建への期待が高まったことや資源価格が上昇したことを受けて上昇したためプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は、期首より、ブラジルの財政再建への期待が高まったことやブラジル中央銀行が利下げを実施したことを受けて上昇基調となりました。2017年2月末にかけては、鉄鉱石などの資源の価格が上昇したことや、インフレの落ち着きを受けて追加

利下げの期待が高まったことなどから続伸しました。しかしその後は、米国の利上げ観測の高まりや原油価格の下落に加えて、ブラジル下院において社会保障制度改革法案の成立が先送りされる見通しとなったことなどが失望されて反落しました。4月には、北朝鮮情勢などをめぐる地政学的リスクが高まったことも下落要因となりました。5月に入ると、社会保障制度改革法案の成立に楽観的な見方が高まり上昇する場面もありましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑が報じられたことを受けて、現政権での構造改革が遅れるとの懸念が広がったため急反落しました。その後、汚職隠ぺいの証拠が事前報道ほど決定的ではなかったことから市場は落ち着きを取り戻しましたが、軟調な資源価格を受けて上値が重い展開のまま期末を迎えました。

○為替相場

ブラジル・リアルは下落しました。期首から2017年2月にかけては、ブラジルのインフレが沈静化していることや財政健全化に向けた改革が進んでいること、また鉄鉱石などの資源価格の上昇などを受けて堅調な推移となりました。3月以降は、米国の利上げ観測の高まりやブラジルの社会保障改革の進捗よくに懸念が台頭したことに加えて、地政学的リスクの高まりや有力政治家の汚職疑惑などを受けて上値の重い展開となりました。5月には、社会保障制度改革に楽観的な見方が広がり上昇する場面もありましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑を受けて構造改革の進展に対する懸念が広がったことから大幅に下落しました。その後、市場は落ち着きを取り戻しましたが、資源価格の下落などを受けて、軟調な推移のまま期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント(ブラジル)の助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を高位に保ち、成長性、株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、ブラジル景気の回復から恩恵を受けることが見込まれた小売りのLOJAS AMERICANAS(一般消費財・サービス)を買い付けました。また、銀行銘柄においては、不良債権の減少により業績改善が見込まれるBANCO DO BRASIL(金融)を買い付ける一方、魅力度が減少したITAU UNIBANCO(金融)を売却しました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク(ボベスパ指数(円換算))の騰落率は6.3%の上昇となりました。一方、当ファンドの騰落率は5.1%の上昇となりました。安定消費財セクターのオーバーウエートなどがマイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント(ブラジル)の助言を受けます。

ダイワ・ブラジル株式会社マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	7 (3) (4)
合 計	11

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2016年12月21日から2017年6月20日まで)

銘 柄	当 期			末 期		
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価
LOJAS AMERICANAS SA-PREF (ブラジル)	152.4	85,716	562	111.4	140,811	1,264
BANCO DO BRASIL S. A. (ブラジル)	63.5	70,720	1,113	49.5	105,160	2,124
TELEFONICA BRASIL-ADR (ブラジル)	42.3	69,667	1,646	178	85,421	479
CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF (ブラジル)	202.5	69,302	342	100	75,908	759
BM&FBOVESPA SA (ブラジル)	97	64,372	663	515	74,434	144
LOCALIZA RENT A CAR (ブラジル)	39	59,828	1,534	78.5	74,320	946
CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO (ブラジル)	34	56,255	1,654	116.5	69,803	599
CIELO SA (ブラジル)	71	54,860	772	68.5	68,512	1,000
BRASKEM SA-SPON ADR (ブラジル)	20	48,635	2,431	138	58,426	423
AMBEV SA-ADR (ブラジル)	79	48,386	612	34	58,269	1,713

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首	当 期	末 期		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	5,534.23	4,560.23	5,011	560,156	金融
BRASKEM SA-SPON ADR	—	200	406	45,378	素材
GERDAU SA -SPON ADR	2,600	1,855	506	56,602	素材
BRF SA-ADR	1,080	945	1,179	131,817	生活必需品
BANCO BRADESCO-ADR	3,812.34	3,735.07	3,085	344,829	金融
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	1,160	1,100	893	99,832	エネルギー
AMBEV SA-ADR	2,900	3,620	1,954	218,487	生活必需品
TELEFONICA BRASIL-ADR	524.8	913.8	1,275	142,581	電気通信サービス
PETROLEO BRASIL-SP PREF ADR	3,980	3,790	2,823	315,588	エネルギー
CIA ENERGETICA DE-SPON ADR	1,360	1,460	332	37,205	公益事業

■売買および取引の状況

株 式

(2016年12月21日から2017年6月20日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,580 (312.73)	千アメリカ・ドル 2,515 (一)	百株 4,279	千アメリカ・ドル 3,655
	ブラジル	百株 12,496 (336.27)	千ブラジル・レアル 25,019 (171)	百株 17,282.08	千ブラジル・レアル 26,381

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

銘柄	柄	期首		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
VALE SA-SP PREF ADR		2,960	2,920	2,216	247,713	素材
VALE SA-SP ADR		290	385	309	34,554	素材
CIA SIDERURGICA NAACL-SP ADR		830	320	59	6,688	素材
FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR		140	190	207	23,211	素材
ULTRAPAR PARTICIPAC-SPON ADR		343	146	343	38,429	エネルギー
CIA BRASILEIRA DE DIS-SP PRF		282	270	538	60,235	生活必需品
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	27,796.37 15銘柄	26,410.1 16銘柄	21,144	2,363,312 <53.8%>	
(ブラジル)		百株	百株	千ブラジル・レアル	千円	
CVC BRASIL OPERADORA E AGENC		—	220	756	25,753	一般消費財・サービス
ENERGISA SA-UNITS		447	—	—	—	公益事業
CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF		—	1,960	2,165	73,723	公益事業
RUMO SA		—	1,540	1,284	43,719	資本財・サービス
USINAS SIDER MINAS GER-PF A		5,300	150	59	2,032	素材
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR		4,945.89	4,945.89	4,461	151,859	金融
CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B		—	280	464	15,812	公益事業
BRADSPAR SA -PREF		550	820	1,496	50,940	素材
BANCO DO BRASIL S. A.		1,300	1,840	4,991	169,924	金融
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO		200	120	375	12,777	エネルギー
CENTRAIS ELETRICAS BRASILER		—	450	560	19,070	公益事業
CCR SA		2,140	2,040	3,455	117,634	資本財・サービス
NATURA COSMETICOS SA		—	140	392	13,343	生活必需品
LIGHT SA		1,140	140	261	8,911	公益事業
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP		460	—	—	—	一般消費財・サービス
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B		750	670	1,030	35,076	公益事業
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF		—	95	603	20,534	公益事業
LOJAS RENNEN S. A.		1,775	1,369	3,805	129,550	一般消費財・サービス
LOJAS AMERICANAS SA-PREF		1,080	1,854.46	2,573	87,618	一般消費財・サービス
JBS SA		3,300	1,990	1,263	43,014	生活必需品
SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A		750	980	1,481	50,439	素材
LOCALIZA RENT A CAR		—	390	1,723	58,664	資本財・サービス
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA		760	260	355	12,098	公益事業
BM&FBOVESPA SA		2,000	2,900	5,591	190,324	金融
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS		315	295.76	1,984	67,554	不動産
BR MALLS PARTICIPACOES SA		727	1,158.05	1,447	49,275	不動産
CIELO SA		385.08	710	1,696	57,762	情報技術
HYPERMARCAS SA		220	240	705	24,018	ヘルスケア
EZ TEC EMPREENDIMENTOS E PAR		1,020	—	—	—	一般消費財・サービス
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD		—	230	1,216	41,416	公益事業
IOCHPE-MAXION S. A.		660	660	1,109	37,766	資本財・サービス
BANCO SANTANDER BRASIL-UNIT		515	490	1,232	41,965	金融
MINERVA SA		—	380	456	15,522	生活必需品
RAIA DROGASIL SA		740	380	2,753	93,741	生活必需品
BR PROPERTIES SA		450	—	—	—	不動産
SAO MARTINHO SA		699	659	1,064	36,228	生活必需品
KLABIN SA - UNIT		470	—	—	—	素材
KROTON EDUCACIONAL SA		1,780	—	—	—	一般消費財・サービス
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT		770.65	1,062.65	1,856	63,193	公益事業
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES		400	180	527	17,958	金融
ブラジル・レアル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	36,049.62 30銘柄	31,599.81 34銘柄	55,206	1,879,228 <42.7%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	63,845.99 45銘柄	58,009.91 50銘柄	—	4,242,541 <96.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

■投資信託財産の構成

2017年6月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	4,242,541 千円	96.5 %
コール・ローン等、その他	155,240	3.5
投資信託財産総額	4,397,781	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.77円、1ブラジル・レアル＝34.04円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,322,345千円)の投資信託財産総額(4,397,781千円)に対する比率は、98.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年6月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,397,781,959円
コール・ローン等	132,995,576
株式(評価額)	4,242,541,343
未収配当金	22,245,040
(B) 負債	1,300,000
未払解約金	1,300,000
(C) 純資産総額(A-B)	4,396,481,959
元本	8,322,845,509
次期繰越損益金	△ 3,926,363,550
(D) 受益権総口数	8,322,845,509口
1万口当り基準価額(C/D)	5,282円

*期首における元本額は8,669,752,113円、当期中における追加設定元本額は706,469,673円、同解約元本額は1,053,376,277円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル株式ファンド6,372,013,298円、ブラジル株式オープン1,648,446,701円、ダイワ・エマージング&ジャパン・ファンド291,347,928円、ダイワ新興4カ国株式ファンド(ダイワSMA専用)11,037,582円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は5,282円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,926,363,550円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月21日 至2017年6月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	76,050,690円
受取配当金	76,026,349
受取利息	40,389
支払利息	△ 16,048
(B) 有価証券売買損益	180,047,943
売買益	524,367,153
売買損	△ 344,319,210
(C) その他費用	△ 5,423,018
(D) 当期損益金(A+B+C)	250,675,615
(E) 前期繰越損益金	△ 4,313,425,769
(F) 解約差損益金	438,926,277
(G) 追加信託差損益金	△ 302,539,673
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 3,926,363,550
次期繰越損益金(H)	△ 3,926,363,550

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。